

問1 1869年に実施された「版籍奉還」から、1871年の「廃藩置県」へと改革が進められた主な理由として、最も適切な説明を選択してください。 (2018年 福島県公立入試 類似)

1. 版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き領地を治めていたため、政府による直接的な全国支配が不十分だったから。
2. 地租改正によって土地の所有権が確定したことで、藩という仕組みを残す必要がなくなったから。
3. 王政復古の大号令によって江戸幕府の力が完全に消滅し、諸藩の軍事力を統合する必要がなくなったから。
4. 欧米列強との条約改正を有利に進めるために、地方自治の独立性を高めることが求められたから。

問2 明治時代、欧米の文化や技術が積極的に導入された「文明開化」の象徴として、1872年に日本で最初の鉄道が開通しました。このとき、線路が敷設された区間の組み合わせとして正しいものを、次の記述から選んでください。 (2020年 沖縄公立入試 類似)

1. 新橋と横浜の間
2. 上野と熊谷の間
3. 京都と神戸の間
4. 日本橋と浦賀の間

問3 明治時代の東京・銀座を描いた当時の錦絵には、夜の街を照らすガス灯の設置や、洋服を着用して往来する人々の姿が描かれています。この資料に見られるような、当時の都市部における建築様式の特徴として最も適切なものはどれですか。 (2017年 滋賀公立入試 類似)

1. 伝統的な木造建築に代わり、レンガ造りの建物が立ち並ぶようになった
2. 外壁を厚く塗った土蔵造りの商家が、火災対策として流行した
3. 貴族の住居であった寝殿造が、一般市民の住宅にも取り入れられた
4. 石造りの巨大な城郭建築が、都市のシンボルとして各地に再建された

問4 1871年、明治政府はそれまで各地の旧藩主が統治していた仕組みを廃止し、中央政府が任命した官吏を派遣して全国を直接統治する体制を整えました。この出来事をきっかけに確立された、中央に権限を集中させる政治体制を何と呼びますか。 (2019年 島根公立入試 類似)

1. 中央集権体制
2. 版籍奉還
3. 幕藩体制
4. 封建制度

問5 日本のスポーツ史と外交史を並べた年表において、岩倉使節団がアメリカ合衆国へ派遣された時期と、アメリカ人教師によって野球が日本に伝えられた時期は、明治時代の初期で重なっています。このように、明治政府が近代産業の育成や教育・文化の発展のために招いた外国人が果たした役割の説明として、正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. 欧米の先進的な技術や知識を直接指導し、日本の近代化を加速させた。
2. 鎖国制度を維持しながら、長崎の出島で限定的な学問の伝達を行った。
3. 大日本帝国憲法の草案を単独で作成し、日本の議会政治を完成させた。
4. 満州事変の調査のために派遣され、国際連盟に報告書を提出した。

問6 新橋・横浜間の鉄道が開通した1872年に、政府が公布した「学制」の内容や方針として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2016年 高知公立入試 類似)

1. 身分や男女の区別なく、すべての国民が小学校教育を受けることを目指した
2. 天皇への忠誠や愛国心を育てることを教育の最優先事項として定めた
3. 各藩が運営していた藩校をそのまま存続させ、士族の英才教育を強化した
4. 国家が教育費のすべてを負担し、教科書を無償で配布することを決定した

問7 明治維新が始まった1868年を含む「19世紀」の国際情勢を説明した文として、当時の日本の状況と関連が深いものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)

1. 産業革命を達成した欧米列強が、原料や市場を求めてアジアへの進出を強めていた。
2. アメリカ合衆国がイギリスから独立を宣言し、民主主義に基づいた新しい国家を建設していた。
3. 第一次世界大戦が勃発し、それまで世界を主導していたヨーロッパ諸国の地位が低下し始めていた。
4. 大航海時代の影響でスペインやポルトガルの勢力が拡大し、キリスト教の布教が日本にも及んでいた。

問8 明治政府が実施した地租改正の背景には、政府が国家予算を編成する上で解決すべき課題がありました。それまでの「収穫高に応じた物納」という制度が抱えていた問題点として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 島根公立入試 類似)

1. 米の価格が全国一律であったため、地域ごとの不公平が大きかったこと。
2. 天候による豊作や不作によって収穫量が変動し、税収が不安定であったこと。
3. 農民が土地の所有権を持っていなかったため、耕作意欲が低かったこと。
4. 米による納税は重すぎて運搬が困難であり、流通が停滞していたこと。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き領地を治めていたため、政府による直接的な全国支配が不十分だったから。	版籍奉還は土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させるものでしたが、旧藩主が「知藩事」に任命されたため、実質的な統治構造は以前の藩体制と大きく変わりませんでした。政府が全国を一元的に支配し、近代化を加速させるためには、藩そのものを廃止して中央から官吏を派遣する「廃藩置県」が必要不可欠であったという背景があります。
問2	<b>答え 1</b> 新橋と横浜の間	明治政府は近代化を推し進めるため、イギリスから技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年、現在の東京都にある新橋と、貿易の拠点であった神奈川県横浜を結ぶ区間に日本で最初の鉄道が開通しました。当時の蒸気機関車は、人々に文明開化の到来を強く印象付けることとなりました。
問3	<b>答え 1</b> 伝統的な木造建築に代わり、れんが造りの建物が立ち並ぶようになった	文明開化の影響により、都市部では西洋風の建築が導入されました。特に東京の銀座では、火災に強い街づくりと近代化の象徴として、イギリス人技師の指導による「れんが街」が建設されました。錦絵などの資料からは、ガス灯、馬車、そして洋服を着た人々など、生活のあらゆる面で西洋化が進んでいた様子を読み取ることができます。
問4	<b>答え 1</b> 中央集権体制	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家をつくるため、各地に分散していた権力を中央に集める必要がありました。廃藩置県によって藩が廃止され、中央から府知事や県令が派遣されたことで、全国を一括して統治する中央集権体制が整いました。1869年の版籍奉還では旧藩主が引き続き知藩事として統治していましたが、それでは不十分であったため、この断行に至りました。
問5	<b>答え 1</b> 欧米の先進的な技術や知識を直接指導し、日本の近代化を加速させた。	明治政府に招かれたお雇い外国人は、単に技術を伝えるだけでなく、学校教育を通じて日本人の指導者を育成することにも尽力しました。野球の伝来のように、彼らがもたらした文化は日本の市民生活にも浸透していきました。同時期に行われた岩倉使節団の派遣も、欧米の進んだ制度を直接学び、不平等条約の改正を目指すという共通の近代化目的を持っていました。
問6	<b>答え 1</b> 身分や男女の区別なく、すべての国民が小学校教育を受けることを目指した	学制は「村に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」という理念のもと、国民全員に教育を普及させようとしたものです。これは富国強兵や殖産興業を支える人材を育成する目的がありました。当時はまだ授業料が家庭負担であったため、生活が苦しい農民などによる反対運動も起こりましたが、近代化の重要な一歩となりました。
問7	<b>答え 1</b> 産業革命を達成した欧米列強が、原料や市場を求めてアジアへの進出を強めていた。	19世紀は欧米諸国が工業化を進め、強力な軍事力を背景に植民地を拡大した帝国主義の時代です。日本が明治維新によって急速な近代化を急いだのは、こうした列強のアジア進出という国際的な圧力の中で、独立を守り対等な立場を築く必要があったという背景があります。アメリカ独立は18世紀後半、第一次世界大戦は20世紀初頭、大航海時代は15～16世紀の出来事です。
問8	<b>答え 2</b> 天候による豊作や不作によって収穫量が変動し、税収が不安定であったこと。	江戸時代の年貢制度は、収穫量に応じて納める量が決まる「検見（けみ）」などが一般的であったため、凶作の年には政府（幕府や藩）の収入が激減するという欠点がありました。近代国家として軍隊の整備や産業の育成（殖産興業）を進めるためには、確実に見通しの立つ予算編成が必要でした。そのため、収穫量ではなく、土地の価値に一定率をかけることで、天候に左右されない安定した現金収入を得ることが改革の最大の目的でした。